

Machi + Midori

まちとみどり

SPRING & SUMMER 2022 42

木
林
へ。
。





木 林 へ。

空の青さがいつも違うように

森の緑もいつも違う

春夏秋冬はもちろん

朝の緑と昼の緑も違う

最後に森を訪れたのはいつだろう

どんぐりを拾い

鳥のさえずりを聞き

湿った落ち葉を踏みしめたのは

いつのことだろう

森はいつだって

こんなに近くにあるのに

緑に包まれた南公園西展望台より福岡市中心地を望む

森へ。

- 04 森に誘う
- 07 森と人をつなぐ
- 10 森に魅了された人
- 12 What is "GREEN PANDA" ?
- 14 森のクラフト
- 15 森の活動のはじめ方
- 16 花でまちに彩りと潤いを！
福岡都市部にあなとも
「おもてなし花壇」を持ってみませんか？
- 18 福岡市緑のまちづくり協会
事業のご案内
第22回花と緑の
まちかど写真コンテスト大賞発表！
一人一花サミット開催！

Machi +o Midori

Machi (まち) にも、Midori (緑) にも、i (人) がいる。
それをつなぐ to (と) は、ポジティブな「+°プラス。」
と「〇°丸。」で表し、まち全体が花と緑と共生する人々
であふれますように——という願いが込められている。

木林に誘う

福岡市にはたくさんの森がある

実は市域面積の約3分の1にあたる

10,959ヘクタールが

森林というから驚きだ

森林には生物多様性の保全をはじめ

災害を防ぐ緑のダムとしての

役割も担っている

そして森林を守り育てるためには

人の力が欠かせない

なによりも

健全な森林を次世代に残すために



地域によってもさまざまな種類がある野菊。花言葉は「清楚」



宙に浮いているのは、蜘蛛の巣のいたずら



紫色のホトギスが目に入り、ふと足を止める



ひっそりと花を咲かせるヤブミョウガ

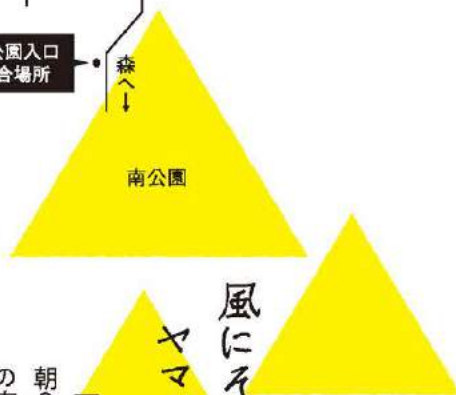
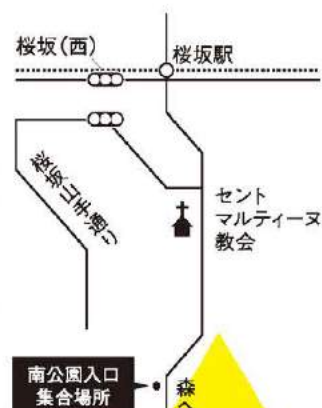
森と人をつなぐ



Profile

特定非営利活動法人グリーンシティ福岡

2003年設立。“人と自然がつながること、自然を通じて人と人がつながること”を大切に、観察会や体験イベント、環境調査や緑地保全事業など多方面の活動を行う。福岡市と共働で「まちなか里山事業」に取り組む。

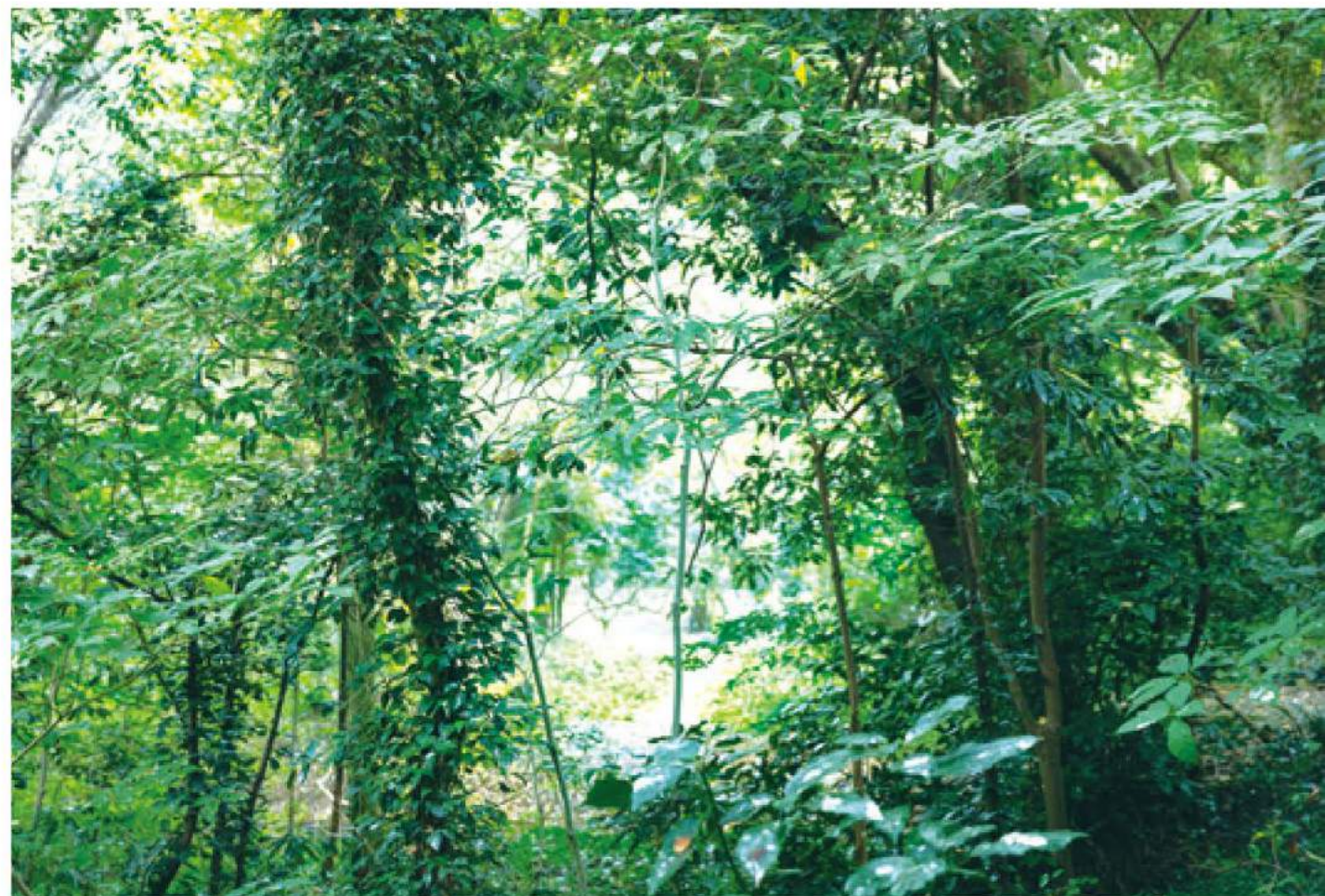


風にそよぐ葉音、
ヤマガラの鳴き声に誘われて



「おはようございます」朝9時半。福岡市中央区の南公園の入口に次々と人が集合する。南公園は、広さ約28万㎡の敷地内に福岡市動植物園や西展望台を有する照葉樹林で、福岡市営地下鉄・桜坂駅から徒歩圏内のところにある。集まっているのは、まちなか里山事業に参加するボランティアの皆さんだ。高校生の姿もある。この事業では、増えすぎた木を間引きしたり、落ちた枯れ木を片付けて生き物の住処を作ったりしている。その背景には1960年以降、手入れがされず暗い藪のように育ち、枯れ木や倒木で危ない場所が増えている問題があるのだ。集合場所から森の中へ移動する道中は、ヤマガラやシジュウカラの鳴き声が聴こえる。実は、南公園はコマドリやオオルリなどの渡り鳥も含め、約100種類の鳥がやってくることで知られ、野鳥ファンが通う森なのだそう。

グリーンシティ福岡理事の志賀壮史さんに、いい森の条件を尋ねてみた。「高木、中木、低木が階層構造になっていて、次の世代の木が育ってきていることがポイント」と語る。森は、それぞれの特性に合わせて管理することが大切なのだ。



南公園には自然度の高い森が広がる。豊かな緑を渡り鳥のために残していきたい



カタツムリの仲間、コベソマイマイ。ひっくり返すと中央に小さなへそが見える



ユニークな看板。ごみなどは各自が持ち帰ることで美しい森が守られる



雨が降ったとき、葉や枝から木の幹を伝って根に雨水が届くことを「樹幹流」という

「枯れ木を土に戻す、この作業が好き。」

ボランティアの皆さんが目的地に到着すると、まず作業工程を説明する。なぜその作業が必要なのか、理由を伝えるのが初心者にも分かりやすい。この日の作業は3班に分かれて行った。

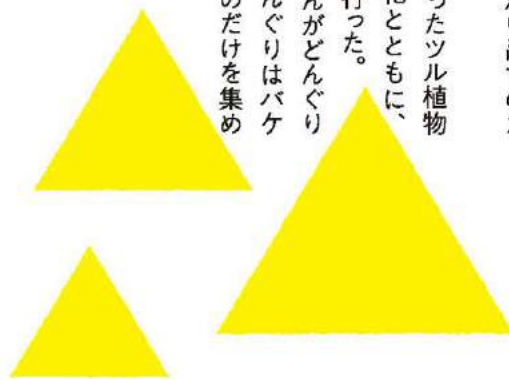


A班の土留めの作業は、森の斜面の土が遊歩道側に崩れないように、枯れ木や落ち葉、土を何層にも重ねてせき止め、側溝にコナラの古木を立てて柵を作る。結構な体力が必要な作業だ。

B班の作業は森の土壌をつくる。古木を横に並べて枯葉をかぶせ、菌を育てることで新しい樹木の活性化につなげる作業だ。ボランティアの川野武志さんは2年前から毎月参加し、「枯れ木を土に戻す、この作業が好き」と語る。森に来ると気持ちが安らぎ、祖父が住んでいた近くの森を思い出すのだそう。

C班は、案内板に絡まったツル植物を取り除き、周辺の美化とともに、つつじを保護する作業を行った。

作業の間には、皆さんがどんぐりを拾って集めていた。どんぐりはバケツの水に浸けて沈んだものだけを集め



ナラ枯れをおこしたコナラ。前回の救出作業の経過を観察しながら、土の大切さを参加者へ解説。



階段状に溝を掘り、枝や木を並べる



枯れ木は無駄にせず再利用する



手入れの行き届いた道具の数々



土が遊歩道側に崩れるのを防ぐ土留め

Forest
and
people



繁殖力の強いツル植物を取り除く



土砂や枯葉、枝などを利用して土手を作る



ツル植物が刈り取られて見やすくなった案内板



約1時間で完成した土留めの柵



水に浸けて沈んだどんぐりを利用する



枯れ木は糸状菌の働きによって土に還る

子どもたちに森を残す

近年、ナラ枯れと呼ばれるナラ類の集団枯死が問題になっている。南公園も例外ではない。皆で「ナラ枯れ」の原因を考え、その地に合った対策を講じて行動に移している。

「まちなか里山事業」に3年前から参加している緑のコーディネーターの青柳あいさんは、「活動をする前と後では自然に対する興味の持ち方が変わった」と話す。森から受け取るエネルギーに感謝を込めて、恩返しのためにもりで参加しているのだそう。

志賀さんは、「子どもたちが自分の足で行ける森を残してあげたい」と語る。休日には大人が車で連れて行く森ではなく、自分の足で行きたいときに「行ける森を残したい」ということだ。

福岡市にはそれが叶えられる森林があり、それぞれの地域にグリーンシティ福岡のように森と人をつなぐ活動を行っている団体がいくつもある。森に癒されたい、足腰を鍛えたい、都会の雑踏を忘れたい、森のために何かをしたい、森に行く理由は一人ひとり違っても、森はすべてを受け入れて私たちに恩恵を与え続けている。

風がヨモギの香りを運ぶ



——素敵なリースですね。すべて手作りですか？

はい。私が作るリースは、草花リースといつて、土台となる材料もすべて散歩をしながら見つけたものです。散歩中に出会う季節の草花を使用するので、材料が集まってから「さあ今日はどんなリースにしようかな？」という感じで作っています。

——リース作りのきっかけは？

2年前、知人からドライフラワーリースの作り方を習い、季節の草花でアレンジすることを思い付きました。グリーンシティ福岡で働き始めたばかりの頃で、自分が何を専門としているのか悩んでいたこともあり、幼い頃から親しんだ草花を紹介できたらいいなと思ったことがきっかけです。お花屋さんの花のような華やかさとは異なりますが、私たちの身近にこんなに素敵な草花があることを伝えられたら...と思っています。

——リース作り以外では、どんな業務に携わっていますか？

グリーンシティ福岡で行っている環境保全活動の準備やサポートをメ



ヨモギのリース
ヨモギの穂先を束ねたベースに、乾燥した白いジュズダマ、クサギのガク、カヤツリグサ、ノブドウをバランスよく配置する。クサギのガクのホルドーが差し色に。
1 ヨモギ、2 ジュズダマ、3 クサギ

インに、平日は事務作業などを行っています。活動から学ぶノウハウは、私がよく登山をしている山の環境改善に役立つ内容もたくさんあります。自然が大好きな私にとって、ここでの業務が地球環境のほんの一部にでもお役に立てることにやりがいを実感しています。

——井上さんにとって、森の魅力とは？

森の中を歩いていると、花の匂いが漂ってきたり、鳥のさえずりが聞こえてきたり、だんだんと五感が研ぎ澄まされてきます。気持ち落ち込んでいても、足元から頭上まで優しい緑に包まれると大地とエネルギーの交換をしているような感覚になって、悩んでいたこともすうっと消えていくような気がします。森に癒されることで、人間も自然の中の一部だと思えるようになり、環境について考えることが増えました。

——最後に、これからの目標を教えてください。

まずは、いつまでも元気に山歩きができる体力を維持したいですね。福岡市の都心で、自然の恵みを暮ら

Interview

森に魅了された人

森が好き。山が好き。自然が好き。草花が好き。優しい緑に、心癒されて。



PROFILE

特定非営利活動法人
グリーンシティ福岡
井上 雅美さん

幼い頃から自然が身近にあり、20代の頃から登山を始める。子どもと一緒に家族で登山に出かけていたが、2015年頃から一人で登るようになる。生け花やガーデニングの延長でリース作りを習うと、身近な草花を用いたリース作りに夢になる。草花リースの作り方は、グリーンシティ福岡のコラム内「草花クラフト」で紹介中。



去りゆく夏の思い出を紡いで



夏の終わりのリース

チガヤの細葉を丸めてリース台を作る。ヨウシュヤマゴボウの黒い実と、線香花火のようなカヤツリグサが、去りゆく夏の落ち着いた雰囲気を出し。

1 チガヤ、2 ヨウシュヤマゴボウ、3 カヤツリグサ

*チガヤの写真はイメージです。実際に使用したものは異なります。

What is “GREEN PANDA”!?



森の人気者、ぐりーんぱんだ

寒い日でもパンダポーズで元気いっぱい！今回は、七隈緑地の竹林で森づくりに取り組んでいる「ぐりーんぱんだ様」におじゃましました。

PROFILE

活動団体／ぐりーんぱんだ 主な活動場所／城南区七隈1-11 七隈緑地
2012年に発足。「花と緑に囲まれた豊かな生活環境を創出するとともに、ちっちゃい子どもからおばあちゃん、おじいちゃん世代の親睦交流を深め、緑あふれるまちづくりを推進すること」を目的としています。



紙芝居やクイズなど、遊びながら自然を学ぶ

この日の活動は、季節の自然観察会です。家族ごとレジャーシートを敷いて、まずは紙芝居タイム。季節の行事や習わしの由来などを紙芝居を使ってわかりやすく学びます。安全に遊ぶために、トゲがある植物や触ると危険な植物を覚えたら、次は桃太郎にちなんだ植物「ヤマモモ」「イヌマキ」「サルノコシカケ」「オランダギジカクシ」など、みんなで茂みに分け入り夢中になって探します。

「親子で水鉄砲や門松づくりなど、自然の中でストレス解消の場になっています。」と毎回楽しみにしている様子です。



(上)「ぼんださん」と呼ばれる代表の坂本憲治さんはみんなの人気者(左)ルールは緩く決めて、状況に応じて子どもたちと考えるのが基本。手作りの的を狙う子どもたち。保護者も巻き込んで本気で遊ぶ



ぼんださんに

6つの質問／

Question

1

“ぐりーんぱんだ”の名前の由来は?

「ぐりーん」は、自然や花、みどりをイメージしています。「ぼんだ」は親しみやすいこと、覚えやすいことと自然に人がたくさん集まってくれるんじゃないかという願いを込めてつけました。

Question

2

発足のきっかけは?

2012年に自然や野外活動が好きなメンバーで立ち上げました。今もわたしと同期(6期生)の緑のコーディネーターである宮本みさんを含むメンバーで活動をしています。

Question

3

主な活動内容は?

毎月、自然観察会をはじめ、放置竹林や緑地の整備、海岸清掃、キャンプ、SDGsのおはなしなどです。福岡県のレッドデータブックに載っているツクシオオガヤツリの種の保存活動も行っています。この茎の繊維を使って、いずれは紙を手作りしてみたいですね。

Question

4

放置竹林の現状はいかがですか?

福岡県は日本一のタケノコの産地です。一方で人手不足により放置されている竹林もたくさんあり、問題になっています。竹の成長は早く、すぐに雑木林などを荒らしてしまいます。そのため、定期的な整備が必要です。

Question

5

誌面を通じて

伝えたいメッセージはありますか?

緑地整備では、樹木の花や実、昆虫など四季の移ろいを楽しむことができます。ぜひ、山や公園へ散歩に出かけて、季節を感じる発見を体感してみてください。その際は、ゴミ袋を片手に散歩をすると、森も気持ちも清々しくなれますよ。

Question

6

今後の目標を教えてください。

緑地の整備をつづけ、自然を身近に感じてもらえる活動を通して、竹林や自然に関心を持つ仲間を増やしていきたいです。

森のために
できることを♪

森の活動のはじめ方

Q まちなかの森には、自由に入っても良いの？

国や県、市が管理している森で、案内板や遊歩道などが設置されている森は自由に入ることができます。比較的、安全性も保たれています。個人の土地である森には勝手に入ることにはできません。また、倒木などの危険性のある森に入るのもやめてください。

Q 森の木を切って良いの？

管理者や所有者の許可を得ましょう。また、特別緑地保全地区などの場合は、手続きが必要です。間伐や剪定などの手入れによって、美しく親しみやすい森は保たれますが、勝手に切ることはできません。

Q 森で注意すると良いことって何？

ハゼノキはかぶれることがあります。森へは、長袖長ズボンで入ることをオススメします。また、夏から秋にかけてのスズメバチには注意が必要です。なるべく白っぽい服装を選ぶようにしましょう。

Q 焚き火をしても良いの？

公園や特別緑地保全地区では、基本的に焚き火はできません。個人の森やBBQ設備のある公園などで楽しみましょう。

Q まちなかの森の所有者や管理者は？

森によって異なります。現地の案内サインに表示してあることもあります。以下を参考にお問い合わせいただくか、森の近くにお住まいの方などにご相談ください。

種別	具体例	問い合わせ先
公園など	舞鶴公園、東平尾公園、南公園など	各公園の管理事務所、福岡市動植物園(南公園)
特別緑地保全地区	鴻巣山、愛宕山、浄水緑地、七隈緑地など	福岡市みどり運営課
国有林	玄界灘沿岸の松原の一部など	福岡森林管理署
個人の森	大木のある庭園や自宅の裏山など	その所有者
その他	鎮守の森や学校林なども大切なまちなかの森	

Q ほったらかしの竹が増えているところは？

枯れた竹が倒れることもあります。たけのこ掘りなどで活用していくと、美しい竹林が復活していくことでしょう。

Q 参加したいけれど、どんな活動があるの？

森の手入れを行っているボランティア活動団体は、福岡市内に多数あり、団体ごとに活動内容は異なります。体験参加を実施している団体もありますので、まずはまちづくり協会までお問い合わせください。

地域の森づくり活動団体のご紹介

特定非営利活動法人 はかた夢松原の会	東区 海の中道、地行浜、百道浜、生の松原
三苦松林再生会	東区 三苦
曾根崎池愛護会	東区 曾根崎池
志賀島-海ノ中道サイクルツーリズム協議会	東区 志賀島市道勝馬志賀島線
リ・リーフ	中央区 浄水緑地(特別緑地保全地区*)
竹公園をまもる会	南区 長丘緑地(特別緑地保全地区*)
油山自然観察の森 森を育てる会	南区 油山自然観察の森
わたなべ平和の森を守る会	南区 平和北緑地(特別緑地保全地区*)
片江市民緑地グリーンメイトの会	城南区 片江市民緑地
梅香る町梅林推進プロジェクト	城南区 梅林
ぐりーんばんだ	城南区 七隈緑地(特別緑地保全地区*)
野河内往還の会	早良区 大字飯場
市民緑化活動グループ「わたしの木」	早良区 曲淵
愛宕の森と緑を守る会	西区 愛宕山(特別緑地保全地区*)
生の松原緑地保全会議	西区 生の松原
今津元寇防塁・松原愛護会	西区 今津長浜
西区ふれあいの森 生松台クラブ	西区 大字拾六町 西区ふれあいの森
西の丘団地法面緑化推進ボランティアグリーンサポートクラブ	西区 西の丘団地
能古緑の島づくり推進委員会	西区 能古島
福岡市瑞梅寺川を守る会	西区 瑞梅寺川堤防
New福岡グリーンヘルパーの会	西区 元岡九州大学伊都キャンパス

※特別緑地保全地区制度とは、「都市緑地法」に基づき、都市の中のまとまりのある緑地を永続的に保全し、緑豊かな街の環境を維持する制度です。福岡市内には、71箇所(117.5ha(民有地含む))の特別緑地保全地区があります。



水源涵養林

福岡市早良区曲淵にある、水源を守るための水源涵養林で開催された「キッズフォレスタークラブ〜ふくおかの森を知ろう・守ろう〜」。そこで、自然が奏でるオリジナルクラフトに出会えた。

森のクラフト

森のスプーンと森のフォーク



森のえんぴつ



森のコースター



集合時間に雨が降り出し、慌てて各自の車に駆け戻る参加者たち。ドキドキ、ワクワクの幕を開けることとなった「キッズフォレスタークラブ〜ふくおかの森を知ろう・守ろう〜」。

程なくしてやんだ雹を尻目に森の観察へ。様々な生きものの存在を体感した。

水の大切さや水源涵養林の重要性を学んだ後は、福岡市水源林ボランティアの会の方々と杉の木伐採体験だ。

切り込みを入れた木にロープを結び、そのロープを皆んなでいっせいに引っ張り、木をなぎ倒した。そして参加者それぞれが木の「枝払い」「玉切り」を行なっていた。最後は、払った枝を材料にクラフトづくり。好きな枝を選び、やすりがけをして、オリジナルのクラフトが完成!

自然のものだからこそ、一つとして同じ姿、形のものがない、趣あふれる「森のクラフト」である。



使用する工具の使い方や注意点を真剣に学ぶ



恐る恐るノコギリで枝を払うこともたち。数回目には一人で悠々とノコギリを捌くように



枝のまわりを丁寧に紙やすりで磨く。一生懸命に磨けば磨くほど、愛着が湧く

キッズフォレスタークラブ(福岡市環境局主催)は、「生物多様性ふくおか戦略」に基づき、「森の観察」「森の手入れ」「間伐材のクラフト」などの体験を通じて、さまざまな役割をもつ「森」への関心を高め、生物多様性とその恵みを実感してもらうことを目的としている。



花でまちに彩りと潤いを!

福岡都心部にあなたも「おもてなし花壇」を持って みませんか?

Spring & Summer 2022
おもてなし花壇ご協賛リスト
2021年4月1日～2022年3月31日

いま、天神・博多駅地区など福岡都心部は、花によりまちに彩りと潤いがあふれています。これは「一人一花(ひとりひとはな)」、「一企業一花壇(いちぎぎょうひとかだん)」を合言葉に、皆さまと進めている一人一花運動によるもので、多くの市民や企業の皆さまのご参加により「花による福岡の未来のまちづくり」が進み、まちの魅力やまちの価値が高まっています。

この「一人一花運動」の一つ、「おもてなし花壇」では、スポンサー協賛企業様を募集しています。皆さまも福岡都心部に「私たちの花壇」を持ち、花によるまちづくりや、おもてなし景観づくりに参加してみませんか?



福岡市緑のまちづくり協会事業のご案内

緑のまちづくり協会では福岡市が花と緑あふれるまちとなるよう花や緑に関するさまざまな事業を行っています。

1 都市緑化などの推進 (花と緑によるまちづくりの推進)

緑化活動団体を支援

市民活動団体が自主的に取り組む緑化活動を支援し、活動費を助成しています。

【地域の森づくり】

市内にある樹林地などで樹木の間伐、剪定などによる森の保全、市街地に植樹を行うことによる緑の名所づくりに取り組む団体に助成金を交付。



【地域の花づくり】

市内にある公園や道沿い、駅前などで花壇づくりを行う団体(花壇などの面積が10m²以上)に助成金を交付。



都市緑化基金の運営

情報誌「Machi+Midori」の発行

調査研究

都市緑化に関する調査研究を行っています。

緑のコーディネーターの養成・紹介・派遣

市民協働による緑のまちづくりを推進するため「緑のコーディネーター養成講座」を修了し、福岡市の認定を受けた253名(令和4年3月現在)が、緑のコーディネーターとして活動中です。

【養成講座の実施】

緑に関する一定の知識・技術がある方を対象に、緑のコーディネーター養成講座全10回を実施しています。

講座は隔年開催



【紹介・派遣】

市民からの依頼を受け、花壇づくりや樹木ガイド、花や緑に関する体験講座などの講師として依頼に選んだコーディネーターを紹介しています。



市民センター体験講座(スワッグ)

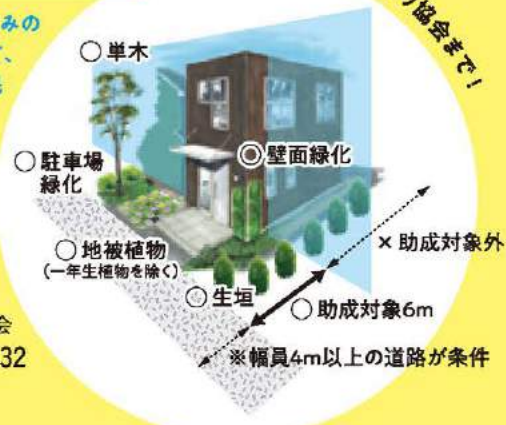


自然観察会(舞鶴公園)

緑化助成

緑あふれる街並みの形成を目的として、道路から見える民有地の緑化に助成します。

【お問い合わせ】
(公益)福岡市
緑のまちづくり協会
☎092-822-5832



イベントやコンテストなどの開催

【一人一花サミット】

毎年10月に都市緑化啓発イベントを開催。緑のまちづくり協会が事務局を務めています。



【一人一花スプリングフェス】

毎年4月に警固公園等で開催される都市緑化啓発イベントを共催しています。



【花と緑のまちづくり賞】 【写真コンテスト】

都市の緑化啓発を目的に、緑のまちづくり協会が実施しているコンテストです。



2 街路樹などの維持管理 (良好な都市環境の創造、安心・安全なまちづくりの推進)

【危険箇所の応急作業】



【街路樹診断】



【受託者研修】



街路樹維持管理の設計・監督、市民要望対応、巡回点検、応急作業などにより、街路樹を健全に育成・管理するとともに、道路空間における市民の安全を確保するための業務を行っています。

3 東平尾公園の管理・運営 (指定管理)

【イベントの運営】



昆虫ウォッチング

【競技場の芝生管理】



ベスト電器スタジアム

選手の視線を体験できます!

バックヤードツアー開催中!

日頃入ることができない選手ロッカールームやスタンドの舞台裏など、リニューアルしたベスト電器スタジアムを見学。ウォーミングアップ場で選手気分を体験したり芝生の管理作業も見ることができます。

/詳しくは [ベストスタジアムバックヤードツアー](#) Qへ

4 舞鶴公園の管理・運営 (指定管理)

【福岡城址】



【平和台陸上競技場】



【イベントの運営】



自然観察会



秋の舞鶴公園であそぼう!

5 緑のまちづくり協会駐車場・公園などにおける 便益施設管理運営

【収益事業について】

駐車場や公園便益施設などの管理運営を行っています。都市機能の増進および公園利用者の利便を図るとともに、その収益金を都市緑化推進事業の財源として活用しています。



接道部分を花壇にした駐車場



公園自動販売機



福岡市植物園展望台カフェ

Information

第22回 花と緑のまちかど写真コンテスト 大賞発表!

花や緑に関する写真の募集や展示会を通し緑の普及啓発を図ることを目的に福岡市内のまちかどの花や緑をテーマにした写真コンテストを今年も開催いたしました。令和3年度は230点の応募の中から右の作品が大賞を受賞いたしました。



大賞
「サイクリング日和」
丸山 穂子さん
(海の中道海浜公園)

第22回入賞作品展(予定)

- ▶ 4月8日(金)~4月12日(火) 福岡市役所
- ▶ 5月17日(火)~6月5日(日) 福岡市植物園
- ▶ 6月13日(月)~6月19日(日) アクロス福岡

Information

一人一花サミット開催!

一人一花運動に取り組む活動団体・市民・企業等の方々が一堂に集う花と緑のイベント「一人一花サミット」を開催。表彰式、「ボタニカルライフスクエア」を活用した「植物園NEXT」をテーマにトークセッション、緑化団体による体験ブースなどで賑わいました。



What's? 「植物園NEXT」始動!

- 【一人一花ガーデンラボ】世界的ガーデナー石原和幸氏から直接ガーデニングの秘訣が学べる講座。
- 【ボタニカルライフスクエア】一人一花運動を広げる活動拠点が植物園に誕生。

詳しくは [植物園NEXT](#) Q を検索!

緑のまちづくり協会からのお知らせです!

INFORMATION



皆さまのご協力をお願いします

寄付・募金の お願いです

基金の募金箱は福岡市植物園、福岡市情報プラザ(福岡市役所1F)などに設置しています。みなさまのご協力をお願いします。

花とみどりに溢れるまちづくりを支える

福岡市都市緑化基金

福岡市都市緑化基金は、(公財)福岡市緑のまちづくり協会が運営母体となり、市民の皆さまや民間企業からいただいた寄付金を積み立て、その運用利息等を利用して、都市の緑化を進めるための基金です。



都市緑化基金へのご寄付をありがとうございます

- 園芸福祉ふくおかネット
- 大濠公園ガーデニングクラブ
- 片江市民緑地グリーンメイトの会
- きものレンタル舞遊の館
- 西日本短期大学
- 一般社団法人福岡市造園建設業協会

- 福岡市都市緑化推進行事実行委員会
- 福岡博多ライオンズクラブ
- 舞鶴公園フラワーボランティア
- 水と緑の楽校
- NPO法人緑のキャラバン隊
- *令和3年2月~令和4年1月 五十音順、個人を除く

ぐるぐるグリッピ Vol.22

福岡市花と緑のマスコットキャラクターグリッピのお話

森の精「モリハピ」現る?の巻



おもてなし花壇事業のご案内です

福岡都心部に 「皆さまの花壇」をもちませんか?

福岡市では、市民や企業・行政が力を合わせ、花と緑を育てることで、まちが彩りや潤いにあふれ、誰もが福岡に親しみや愛着を持ち、豊かな心が育まれる一人一花運動の一環として、歩道や中央分離帯などに、花を植え、街を彩るために協賛いただけるスポンサー企業を募集しております。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

詳しくは [福岡市 おもてなし花壇](#) をご覧ください! / 福岡市一人一花推進課 ☎092-711-4424

寄付金の 税控除について

「福岡市都市緑化基金」に対する寄付には、所得税、福岡市の個人住民税で、寄付をした翌年の寄付金税額控除の適用が受けられます。
手続きなど、詳しくは、お気軽にご相談ください。

募金について お申し込み・ご相談

(公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 企画推進係
☎092-822-5832



協会本部事務所

〒814-0001
福岡市早良区百道浜2-3-26
福岡タワーセンタービル2F
TEL 092-822-5832
FAX 092-822-5848



東平尾公園管理事務所

〒812-0852
福岡市博多区東平尾公園2-1-2
(陸上競技場入口)
TEL 092-611-1515
FAX 092-611-8988

舞鶴公園管理事務所

〒810-0043
福岡市中央区城内1-4
(陸上競技場入口)
TEL 092-781-2153
FAX 092-715-7590



公益財団法人

福岡市緑のまちづくり協会

www.midorimachi.jp

緑のまちづくり協会

